

第219回全経簿記上級 受験生の皆さまへ

日商簿記検定1級
2025年11月合格目標

対象 1級学習経験者

1級直前対策パック (全30回)

再チャレンジ・独学
の方にオススメ

効率的なカリキュラムで合格へと導く
1級学習経験者向けコース!

出題頻度の高い重要論点を中心に教材の習熟度を上げる「直前対策講義」。本試験に即した問題で答案練習をする「直前模擬試験」、「全国統一公開模擬試験」。直前対策パックはこの3つがセットになり、合格に必要な実力を段階的に養うコースです。

1 比較してください!
大原なら

Web講義標準装備

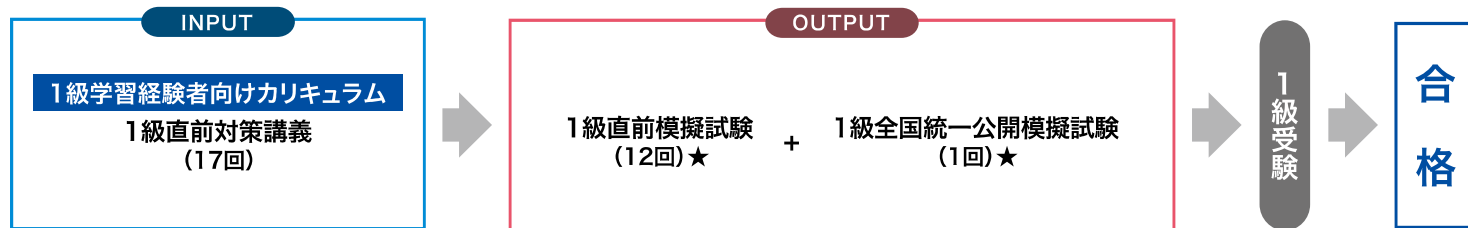
すべての受講スタイルにWeb講義が付いているので、予習・復習、欠席フォローも安心!

2 比較してください!
大原なら

質問可能

来校(通学生)・電話(通学生・通信生)
・質問フォーム(通信生)

▶ カリキュラム



★映像通学生 教室振替可(通信生は全国統一公開模擬試験のみ教室聴講可。)

▶ 受講料・開講日等

学習スタイル		受講料 消費税10%込		教材発送開始日・開講日等	受講期間
		一般価格	大学生協等割引価格 5割		
通信	Web通信	81,100円	77,040円	お申込後随時発送	 HP講義 日程表 お申込みの 受験対策検定 試験日まで
	Webライブ	99,000円	94,050円	8/2(土)より開講	
通学	映像通学	99,000円	94,050円	お申込後随時視聴	
	教室通学			東京水道橋校にて 8/2(土)より開講	

各学習スタイル付随の共通サービス等

Web講義標準装備

欠席フォロー等に活用。講義動画をWeb視聴できます。

問題集解説動画Web視聴

ALFA問題集の解説動画をWeb視聴できます。

解答用紙ダウンロードサービス

ALFA問題集の解答用紙をWebからダウンロードできます。

コースの詳細は、大原ホームページをご覧ください

← クリック

資格の大原 就職の大原

■詳しい資料を無料でお届けします

https://www.o-hara.jp/contact/document_request/form

全経上級商業簿記模範解答

問題 1 について、【 】には科目の記号を、〔 〕には金額を、それぞれ一つのみ記入すること。なお、空欄となる場合もある。

問題 1

(1) 2X24 年 3 月期

個別企業の仕訳

企業	日付	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
P 社	4/1	【 B 】	〔 3,520,000 〕	【 D 】	〔 5,000,000 〕	④
		【 H 】	〔 1,000,000 〕	【 G 】	〔 320,000 〕	
		【 M 】	〔 800,000 〕	【 】	〔 〕	
S 社	4/1	【 D 】	〔 3,200,000 〕	【 F 】	〔 3,520,000 〕	④
		【 C 】	〔 320,000 〕	【 】	〔 〕	
	3/31	【 K 】	〔 400,000 〕	【 H 】	〔 400,000 〕	④

連結調整

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
【 D 】	〔 800,000 〕	【 M 】	〔 800,000 〕	⑤
【 K 】	〔 100,000 〕	【 H 】	〔 100,000 〕	
【 N 】	〔 210,000 〕	【 I 】	〔 210,000 〕	
【 】	〔 〕	【 】	〔 〕	
【 】	〔 〕	【 】	〔 〕	

(2) 2X25 年 3 月期

個別企業の仕訳

企業	日付	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
S 社	9/30	【 A 】	〔 2,970,000 〕	【 D 】	〔 3,200,000 〕	④
		【 H 】	〔 400,000 〕	【 G 】	〔 270,000 〕	
		【 K 】	〔 200,000 〕	【 M 】	〔 100,000 〕	

連結調整

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
開 始 仕 訳	【 D 】	〔 800,000 〕	【 J 】	〔 800,000 〕	⑤
	【 J 】	〔 100,000 〕	【 H 】	〔 100,000 〕	
	【 J 】	〔 210,000 〕	【 I 】	〔 210,000 〕	
期中の 調整 仕訳	【 H 】	〔 100,000 〕	【 D 】	〔 800,000 〕	⑤
	【 K 】	〔 50,000 〕	【 】	〔 〕	
	【 M 】	〔 650,000 〕	【 】	〔 〕	
	【 I 】	〔 210,000 〕	【 N 】	〔 210,000 〕	
	【 】	〔 〕	【 】	〔 〕	

問題 2

決算整理後残高試算表

(単位:円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	21,033	買掛金	456,000
当座預金	410,023	未払社債利息	[③ 7,500]
売掛金	638,900	未払消費税等	[③ 94,100]
積送売掛金	[③ 34,100]	未払法人税等	[③ 35,000]
前払地代	[③ 6,000]	先物取引差金	[0]
為替予約差額	[450]	繰延先物損益	[③ 5,000]
未収利息	[750]	為替予約差額	[0]
先物取引差金	[5,000]	貸倒引当金	[③ 8,076]
繰延先物損益	[0]	建物減価償却累計額	[③ 245,221]
商品	[③ 489,400]	備品減価償却累計額	[③ 336,000]
差入証拠金	500	社債	[③ 982,800]
建物	[③ 2,178,320]	資産除去債務	[③ 181,886]
備品	600,000	資本金	4,000,000
土地	3,000,000	利益準備金	600,000
その他有価証券	[③ 94,000]	繰越利益剰余金	703,206
差入保証金	24,000	その他有価証券評価差額金	[0]
その他有価証券評価差額金	[③ 6,000]	売上	[③ 3,545,000]
売上原価	[③ 2,732,600]	受取利息	[③ 1,650]
給与手当	400,000		
支払地代	[24,000]		
貸倒引当金繰入	[③ 6,876]		
減価償却費	[281,221]		
商品評価損	[③ 3,600]		
その他の営業費用	[③ 154,000]		
社債利息	[25,300]		
資産除去債務調整額	[③ 3,566]		
為替差損益	[③ 1,800]		
法人税、住民税及び事業税	60,000		
	[11,201,439]		[11,201,439]

注意: [] 内の金額がゼロである場合, 0 と記入すること。

全経上級財務会計模範解答

問題 1

	正誤	理 由
1.	× ②	株主からの払込み額は、その全額を資本金とするのが原則である。ただし、払込み額の二分の一を ② 超えない額は、資本金として計上しないことができ、当該金額は資本準備金とする。 ④
2.	× ②	将来の特定の費用又は損失であって、その発生が当期以前の事象に起因し、発生の可能性が高く、 ② かつ、その金額を合理的に見積もることができる場合には、引当金として計上する。 ④
3.	× ②	資産除去債務は、有形固定資産の取得、建設、開発又は通常の使用によって発生し、発生した時に ② 負債として計上する。 ④
4.	○ ②	
5.	○ ②	
6.	○ ②	
7.	○ ②	
8.	× ②	外貨建売買目的有価証券は、決算時に外国通貨による時価を決算時の為替相場により円換算した額 ② を付し、換算差額は当期の有価証券評価損益として処理する。 ④
9.	○ ②	
10.	× ②	研究開発費は、すべて発生時に費用として処理し、その方法には一般管理費として処理する方法と ② 当期製造費用として処理する方法がある。 ④

問題 2

問 1

1	移 転 ③	2	対 価 ③	3	契 約 ③	4	履行義務 ③
---	-------	---	-------	---	-------	---	--------

問 2

(1) ④	22,800 千円	(2) ④	22,740 千円
-------	-----------	-------	-----------

問 3

(1) ④	300 千円	(2) ④	42 千円
-------	--------	-------	-------

問題 3

問 1

1	企 業 ④	2	株 主 ④
3	売 上 高 ④	4	総資本回転率 ④
5	自己資本比率 ④	6	安 全 性 ④

別解：3：総収益

問 2

負債に係る資本コストがROAを下回っている場合には、財務レバレッジ効果によって、ROEがROAよりも
高くなる。 ⑧

全経上級原価計算模範解答

問題 1

問 1

実際消費賃率

鍛造部門 [④ 2,860] 円／時間 加工部門 [2,680] 円／時間

問 2

予定配賦率

鍛造部門 [3,800] 円／時間 加工部門 [④ 2,800] 円／時間

問 3

原価計算表

(単位: 円)

	No. 1	No. 2	No. 2-2	No. 3	No. 3-2	No. 4
前月繰越	2,985,200	—	—	—	—	—
直接材料費	—	④ 1,468,800	1,836,000	1,792,800	129,600	1,425,600
直接労務費						
鍛造部門	—	400,400	543,400	514,800	42,900	371,800
加工部門	④ 428,800	281,400	442,200	388,600	26,800	—
製造間接費						
鍛造部門	—	532,000	722,000	684,000	④ 57,000	494,000
加工部門	448,000	294,000	462,000	406,000	28,000	—
小計	3,862,000	2,976,600	4,005,600	3,786,200	284,300	2,291,400
仕損品	—	△668,000	—	—	—	—
正常仕損費	—	△1,154,300	④ 1,154,300	④ 284,300	△284,300	—
異常仕損費	—	△1,154,300	—	—	—	—
合計	3,862,000	0	5,159,900	4,070,500	0	2,291,400

マイナスの場合は数字の前に△を付すこと。

完成品原価 [④ 13,092,400] 円 月末仕掛品原価 [④ 2,291,400] 円

問 4

(④ 部 門 固 別 費) (④ 部 門 共 通 費)

問5

補助部門費配賦後の金額

鍛造部門 〔 ④ 2,509,900 〕 円 加工部門 〔 1,734,400 〕 円

問6

鍛造部門

予算差異 〔 74,100 〕 円 操業度差異 〔 ④ △ 95,000 〕 円

加工部門

予算差異 〔 ④ △ 54,400 〕 円 操業度差異 〔 △ 42,000 〕 円

問題2

問1

購入原価・材料A 〔 ④ 1,240,300 〕 円 購入原価・材料B 〔 ④ 834,400 〕 円

材料副費配賦差異 〔 ④ 10,800 〕 円

問2

購入原価・材料A 〔 ④ 1,173,940 〕 円 購入原価・材料B 〔 ④ 787,360 〕 円

問3

購入原価に算入しない材料副費の処理は、間接経費に属する項目とするか、材料費に配賦する。

④

問題3

意味

操業度とは、経営能力を一定とした場合のその利用度をあらわす。

④

種類

理 論 的 生 産 能 力 ④

実 際 的 生 産 能 力 ④

平 均 操 業 度 ④

期 待 実 際 操 業 度 ④

全経上級管理会計模範解答

問題 1

問 1

予 防 コ ス ト	〔 ④	28,800,000	〕 円
評 価 コ ス ト	〔 ④	11,000,000	〕 円
内部失敗コスト	〔 ④	57,200,000	〕 円
外部失敗コスト	〔 ④	111,000,000	〕 円
品質原価合計	〔	208,000,000	〕 円

問 2

第 1 案

予 防 コ ス ト	〔 ④	36,720,000	〕 円
評 価 コ ス ト	〔 ④	11,000,000	〕 円
内部失敗コスト	〔 ④	50,080,000	〕 円
外部失敗コスト	〔 ④	82,200,000	〕 円
品質原価合計	〔	180,000,000	〕 円

第 2 案

予 防 コ ス ト	〔 ④	28,800,000	〕 円
評 価 コ ス ト	〔 ④	13,200,000	〕 円
内部失敗コスト	〔 ④	45,760,000	〕 円
外部失敗コスト	〔 ④	87,900,000	〕 円
品質原価合計	〔	175,660,000	〕 円

(第 1 案 第 2 案) * の方が品質原価合計が〔 4,340,000 〕円低いので有利な案である。 ②

* どちらかの案を○で囲むこと。

問題 2

問 1

製品 X [④ 300] 個 製品 Y [④ 400] 個 貢献利益合計 [④ 310,000] 円

問 2

製品 X [④ 100] 個 製品 Y [④ 600] 個 貢献利益合計 [④ 270,000] 円

問 3

製品 X [④ 400] 個 製品 Y [④ 200] 個 貢献利益合計 [④ 240,000] 円

問題 3

- (1) ア (② 許 容 原 価) イ (② 成 行 原 価)
- (2) ウ (⑤ システムコスト)
- (3) エ (⑤ トレード・オフ)